学校ネットパトロールについて

浜松市は年間を通して学校ネットパトロールを実施しています。

令和2年度の不適切な書き込みのあったサイト数は合計で**1846**件でした。昨年度に比べて**181件増加しています**。SNSなどの個人サイトへ顔のわかる画像や動画を気軽に投稿するケースが目立っています。また、SNSで直接知らない人とつながろうとする傾向がより強くなっているようです。不適切な画像等の公開は、個人の特定や拡散につながる場合があります。また、自傷や悩みごとの書き込みは、悪意を持つ者による誘い出しにつながりかねない危険な行為です。ネット上で責任ある行動がとれるよう各家庭で指導し、日常的に見守ることが大切です。

飲酒・喫煙などの不適切行為

個人情報の公開

プロフィール
〇〇中2年　バスケ部だよ

自傷・悩み

もしものときの相談窓口

浜松市小中学校の学校生活やいじめに関する相談全般

浜松市教育総合支援センター　☎053-457-2424
浜松市いじめ子どもホットライン　☎053-451-0022

インターネット環境における違法・有害情報および安心・安全に関わる相談全般（総務省支援事業）

違法・有害情報相談センター　インターネット相談　http://www.ihaho.jp/
（「相談フォームへ」をクリック）

誹謗中傷・いじめ・人権侵害に関する相談

24 時間子供ＳＯＳダイヤル　☎0120-0-78310
子どもの人権110 番　☎0120-007-110

ネット誘因や犯罪性のあるネット書き込みなどの問題

静岡県警少年サポートセンター浜松地区　☎053-475-0110（内線281）
静岡県警察サイバー犯罪対策課　☎054-271-0110（代表）

児童ポルノや危険ドラッグなどの有害情報の書き込みやリベンジポルノの削除依頼

セーファーインターネット協会　セーフライン　http://www.safe-line.jp/
インターネット・ホットラインセンター　http://www.internethotline.jp/

高額請求・ワンクリック詐欺などの相談

浜松市くらしのセンター　☎053-457-2205
静岡県西部消費生活センター　☎053-452-2299

親子で考える 安全・安心なスマホ・ネット利用

保護者のみなさまへ

スマホやゲーム機、パソコン等の利用によって、浜松市内でもさまざまなトラブルが起きています。子供の適切な利用を見守るのは、保護者の責任です。スマホやネットの利用マナーやルールをご家庭で話し合うために、このリーフレットをお役立てください。

ゲーム・スマホがやめられない！　インターネット依存が増加中

新型コロナウイルスによる休校の影響もあり、「家でゲーム漬け」「スマホで動画ばかり見ている」という習慣から抜け出せない子供が増えています。大切な成長期に生活リズムが崩れると、体にも心にも大きな影響が出ます。いったん依存状態になってしまうと、抜け出すことは極めて困難になります。ゲームやネットの利用時間が長くなってきたと感じたら、早めの対処をこころがけましょう。

小学6年生の3割の子供たちにインターネット依存の傾向があります

インターネット依存予防の9つのポイント

1. 占有させない…スマホは親が貸与している意識を
2. 買う前にルールを決める
3. 使用場所・時間を決める…自室での利用は要注意
4. 課金についてのルールを明確に

→ 購入前にルールを決めておき、最初からルールを守って利用するように意識づけをしましょう。

5. 決めたルールを書面に残す
6. 親が模範となる・・・親の使い過ぎを子供は見ている
7. 相談できる環境を作る

→ 親の姿勢が大切です。子供が話したがっているときに、親がスマホに集中していては、子供は親の真似をするようになります。

8. 長期の休みに注意する
9. 現実世界を大切にする

→ インターネット以外の活動にやりがいを見つけられるようにサポートしましょう。

参考：国立病院機構久里浜医療センターHP

浜松市教育委員会　令和3年3月

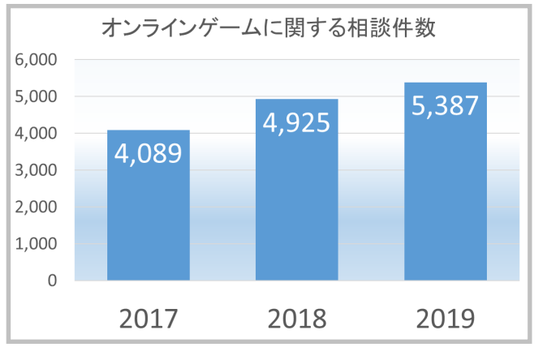
あなたはどちら？

情報化が進む今、「どのように使うか」が大切

今後、浜松市でも児童生徒に一人一台の情報端末が整備される予定です。インターネット上には学習の役に立つ情報もあります。学校の授業でも生活においてもインターネットを活用する場面がますます増えていきます。危険から子供を守ることと、情報活用能力を育むことのバランスが大切です。

対戦ゲームでのケンカや高額課金トラブルも

家でゲームをしながら対戦相手と会話ができる「ボイスチャット」の中でケンカになってしまったり、知らない人に脅されたりするトラブルが起きています。また、ゲーム内のアイテムなどに数十万円もの高額の課金をしてしまうケースも増加しています。ほとんどのゲーム機はインターネットに接続できますので、「ゲーム機だから安心」と安易に考えず、子供たちが誰と、どんなゲームをしているのか、把握しましょう。



「PIO-NETに寄せられた相談件数の推移」より（国民生活センター）

インターネットのトラブルについてもっと知りたい方は…

https://www.soumu.go.jp/main_content/000681954.pdf

「インターネットトラブル事例集（2020年版、総務省）」には、20の具体的な事例と共に、対処法や注意点が解説されています。

QRコードからもアクセスできます。

SNSによる誘い出し犯は、子供の寂しさに付け込んできます

近年、SNSなどの手段で見知らぬ大人と連絡を取り合うようになり、「泊めてあげるよ」などの甘い言葉に誘われて家出をしたり、連れまわされて性犯罪に巻き込まれたりする子供が増加しています。子供たちがネット上の偽りの“友人”を頼りにすることのないよう、しっかり見守りましょう。

家庭でスマホ・ネット利用のルールを作りましょう

ルール作りのポイント

①具体的で守りやすいルールを作る

例「夜9時以降はスマホを使用しない」

②子供自身にルールを宣言させる

保護者が一方的にルールを決めるのではなく、可能な限り子供自身が納得できるルールを自分で宣言できるように促します。

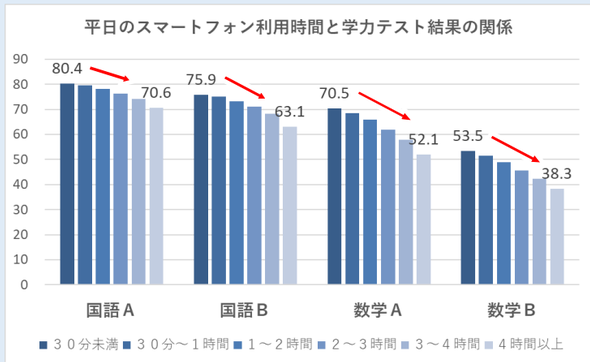
③ルールを守れなかった場合の約束を決めておく

約束を守れなかったときに自分で責任をとれるように自覚させます。

※新たにスマホ等の端末を持たせるとき、学年が変わる時期、機種変更をするときなどは話し合いのチャンスです！子供の成長に合わせて、利用制限の設定を見直したり、家庭ルールを決めたりする機会としてください。

スマホ利用時間と学力テスト結果の関係

平日のスマホ利用時間が**長い**ほど、学力テストの平均点が**低い**という傾向があります。4時間以上使う子供の場合、30分未満の子供と比べて平均点が10点以上低い教科もあります。



文部科学省「平成29年度全国学力・学習状況調査」（中学生）より

家族で話そう！

スマホ・ネットの利用ルール

使用時間	例：夜〇時まで
使用場所	例：リビングで使う
守れなかったときは・・・	